

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ブラジル株式ツインαファンド（毎月分配型）ツインα・コース」は、第76期から第81期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託証券「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）」を通じて、米ドル建てブラジル株式上場投資信託証券（ETF）とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を実質的に構築し、安定した配当収入およびオプションプレミアムを確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。加えて、米ドル（対円レート）の為替変動とオプション取引を組合わせたカバードコール戦略の投資成果の享受を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

**ブラジル株式ツインαファンド
（毎月分配型）
ツインα・コース**

商品分類（追加型投信／海外／株式）

第14作成期

第76期（2021年5月25日） 第79期（2021年8月25日）
第77期（2021年6月25日） 第80期（2021年9月27日）
第78期（2021年7月26日） 第81期（2021年10月25日）
作成対象期間：2021年4月27日～2021年10月25日

第81期末（2021年10月25日）	
基準価額	374円
純資産総額	9,604百万円
第76期～第81期	
騰落率	△8.4%
分配金合計	65円

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

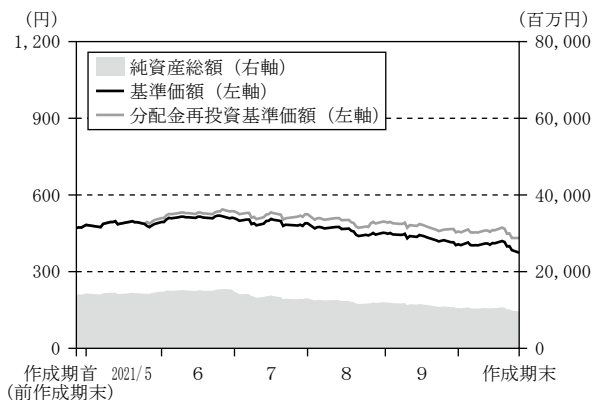
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

基準価額等の推移



第76期首：471円

第81期末：374円 (既払分配金65円)

騰落率：△8.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年4月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス) において、ブラジル株式 (米ドル建てETF) などがマイナス寄与した結果、基準価額 (分配金再投資ベース) は下落しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	△8.1%
マネープールマザーファンド	△0.0

1 万口当たりの費用明細

項目	第76期～第81期		項目の概要
	2021/4/27～2021/10/25		
	金額	比率	
平均基準価額	472円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	3円 (1) (2) (0)	0.729% (0.274) (0.439) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.108 (0.108)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.007 (0.007)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	4	0.844	

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

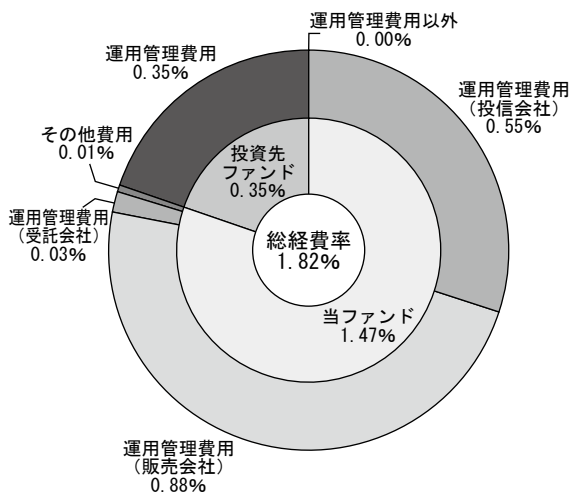
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.47%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は年率換算した値です。

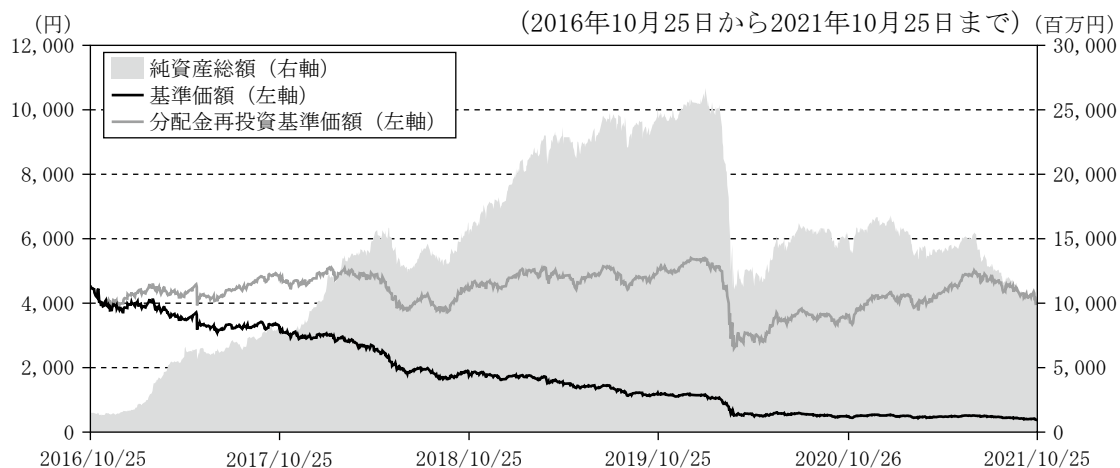
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年10月25日 期初	2017年10月25日 決算日	2018年10月25日 決算日	2019年10月25日 決算日	2020年10月26日 決算日	2021年10月25日 決算日
基準価額（分配落）（円）	4,479	3,181	1,749	1,167	479	374
期間分配金合計（税込み）（円）	—	1,470	1,170	800	390	165
分配金再投資基準価額の騰落率（%）	—	7.4	△ 9.2	15.1	△ 28.2	10.3
純資産総額（百万円）	1,467	7,881	15,285	24,320	14,819	9,604

- (注) 当ファンドはブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ ブラジル株式市況

ブラジル株式市場は下落しました。ブラジルにおいて、2021年3月鉱工業生産や2021年1－3月期GDP成長率が市場予想を上回るなど、良好な経済指標が散見されたこと、中国からの需要の高まり等を背景にブラジルの主要輸出品目である鉄鉱石の価格が過去最高水準まで上昇したことなどが好材料となって、作成期初から2021年6月初めにかけて株価は上昇しました。その後は、セントルイス米連銀総裁による2022年後半の利上げを示唆する発言を受けて、米国の金融緩和政策の解除が前倒しされるとの懸念が強まったことなどから、株価は下落に転じました。8月には、ブラジル政府の追加景気対策が公的債務の増加や財政再建の遅れにつながるとの懸念や、ブラジル中央銀行が政策金利の引上げを決定し、追加利上げについて示唆したことなどが投資家心理を悪化させ、株価は下落しました。その後も、所得税増税や配当課税の導入を盛り込んだ税制改革法案が下院で可決されたこと、ボルソナロ大統領と最高裁判所の選挙制度をめぐる対立の激化、不動産大手企業である中国恒大集団の債務問題などが投資家心理を冷やし、株価は下落基調で推移しました。作成期末には、憲法に規定された歳出上限を超える規模の追加財政支出を伴う現金給付プログラムの実施の検討が開始されたことを受けて、財政悪化懸念が強まるなか、株価は大幅に下落しました。

■ 為替市況

円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。新型コロナウイルス新規感染者数の減少を受けて米国の行動規制緩和が進んだこと、2021年4月のPCE（米個人消費支出）コアデフレータ（前年同期比）が市場予想を超える上昇となったこと、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において利上げ時期の想定が前倒しされたこと、バイデン政権によるインフラ投資計画が法制化に向けて前進し、米国経済の回復期待が一層高まったことなどを背景に、作成期初から6月にかけて米ドルは円に対し上昇しました。7月に入ると、FOMC議事要旨の内容やパウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言を受けて、金融緩和が早期に縮小されるとの観測が後退したことなどから米長期金利が低下し、米ドルは円に対し下落しました。8月から9月中旬にかけては、新型コロナウイルス変異株の感染拡大による米国経済の回復ペース減速への懸念などが米ドルの弱気材料となった一方、米国の好調な雇用関連指標などを背景に、FRBが金融緩和の縮小へ早期に取り組むとの観測が強まったことが米ドルの買い材料となって、米ドル円相場は方向感のない展開が続きました。その後は、パウエルFRB議長が9月のFOMC後の記者会見で11月のテーパリングの可能性を示唆し、また、10月の講演でインフレの長期化リスクに言及したことなどを受けて、米長期金利が上昇し、日米の金利差が意識されたことなどから米ドルは円に対し上昇しました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首 $\Delta 0.11\%$ に対し、作成期末も $\Delta 0.11\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

■ マネープールマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第76期は15円、第77期から第81期まで各10円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	2021年4月27日 ～2021年5月25日	2021年5月26日 ～2021年6月25日	2021年6月26日 ～2021年7月26日	2021年7月27日 ～2021年8月25日	2021年8月26日 ～2021年9月27日	2021年9月28日 ～2021年10月25日
当期分配金	15	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	3.036	1.898	2.041	2.193	2.353	2.604
当期の収益	14	9	9	9	9	9
当期の収益以外	0	0	0	0	0	0
翌期繰越分配対象額	993	993	993	992	991	991

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

■ 当ファンド

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

■ クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（米ドル建てETF）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（米ドル建てETF）からの配当金+ブラジル株式（米ドル建てETF）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

■ マネープールマザーファンド

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの流行などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

お知らせ

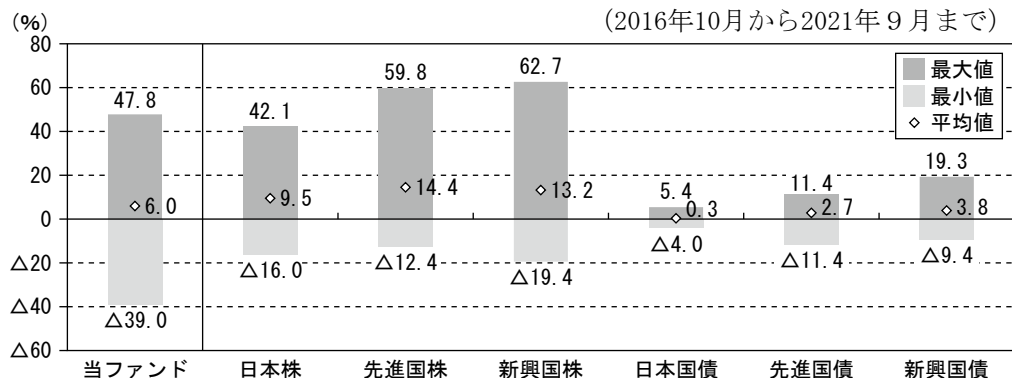
2021年7月22日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2022年12月26日から2025年4月25日とするよう約款変更を行いました。

当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式					
信 託 期 間	2014年12月19日から2025年4月25日まで					
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。					
主 要 運 用 対 象	<p>円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）および国内の証券投資信託であるマネープールマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス） </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> マネープールマザーファンド </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 </td> </tr> </table>		クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	マネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジルETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。					
マネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。					
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。					
分 配 方 針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。					

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2016年10月から2021年9月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) ※1

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース) ※2

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) ※3

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債※4

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) ※5

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース) ※6

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数 (TOPIX) とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

※2 MSCI コクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

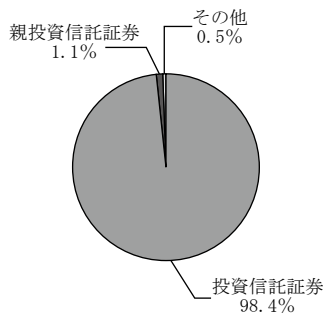
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

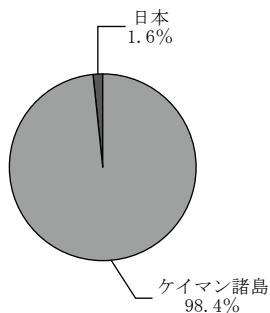
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	第81期末
	2021年10月25日
	比率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式 アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	98.4%
マネープールマザーファンド	1.1
その他	0.5

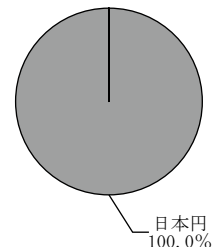
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

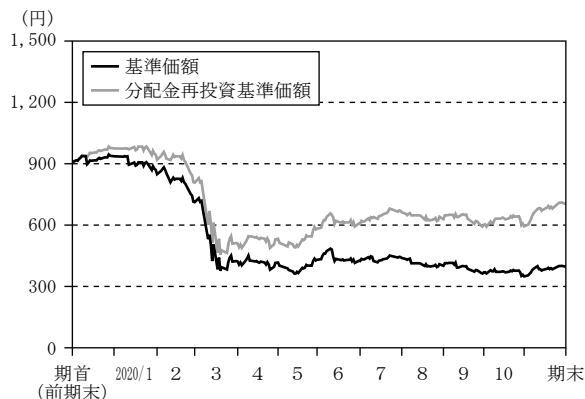
項目	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末
	2021年5月25日	2021年6月25日	2021年7月26日	2021年8月25日	2021年9月27日	2021年10月25日
純資産総額	14,260,129,982円	15,487,714,507円	12,778,132,346円	11,793,639,914円	10,745,154,685円	9,604,744,659円
受益権総口数	297,740,500,004口	299,712,817,234口	266,161,912,680口	264,497,083,027口	258,625,527,925口	256,715,681,942口
1万口当たり基準価額	479円	517円	480円	446円	415円	374円

(注) 当作成期間（第76期～第81期）中における追加設定元本額は56,531,532,207円、同解約元本額は94,551,615,440円です。

組入上位ファンドの概要

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式
アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）（2019年12月1日から2020年11月30日まで）

■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年11月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下はクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）の状況です。

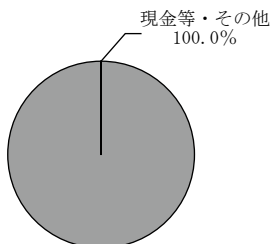
■ スワップ取引の状況

クラス	想定元本額	評価額	比率
シングル・アルファ・クラス	754,720,050円	89,207,910円	0.6%
ツイン・アルファ・クラス	385,456,075,490	15,264,060,590	99.4

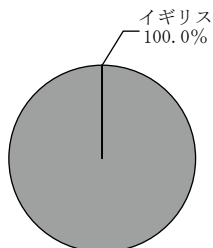
■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

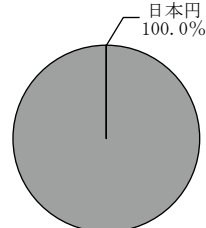
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) スワップ取引の状況および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。

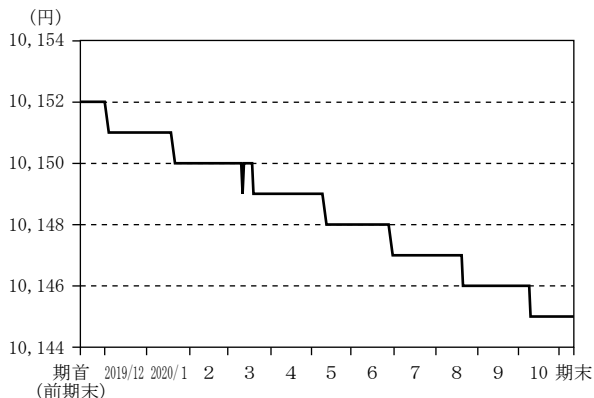
(注) スワップ取引の状況および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) スワップ取引および各配分はバンクオブニューヨークメロン証券およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

マネープールマザーファンド (2019年11月12日から2020年11月10日まで)

■ 基準価額の推移



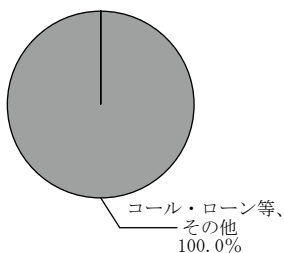
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

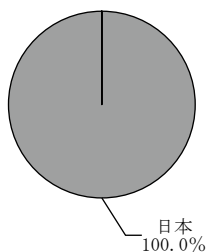
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2019/11/12~2020/11/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,148円	
その他費用	0円	0.001%
(その他)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

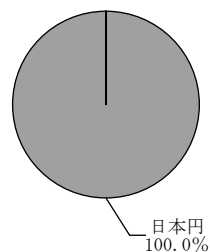
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。